

- 上野図書館 ☎ 21-6868
- いがまち公民館図書室 ☎ 45-9122
- 島ヶ原公民館図書室(島ヶ原会館内) ☎ 59-2291
- 阿山公民館図書室(あやま文化センター内) ☎ 43-0154
- 大山田公民館図書室(大山田教育センター内) ☎ 47-1175
- 青山公民館図書室 ☎ 52-1110

図書館だより

Library Information

★新着図書紹介(上野図書館)

■一般書

『日本の手仕事』

小澤 典代／著
江戸切子、京金網、会津木綿、こぎん刺しなど、ずっと昔から日本で受け継がれてきたものづくり。スタイリストの著者が、次世代にも伝えていきたい「手仕事」の現場を訪ね、紹介しています。

■一般書

『小学生の学力は

「新聞」で伸びる!』
樋口 裕一／著
「小学生に新聞は無理」と思いませんか。新聞を読むことで、語彙力、読解力、考える力、社会に目を向ける力が身につきます。さまざまできごとや、多様な考え方を知るための新聞の活用法を解説した本です。

■児童書

『レンタルロボット』

滝井 幸代／作
三木 謙次／絵
弟が欲しいと思っていた健太は、偶然見つけた店で弟ロボットをレンタルしました。かわいい弟ができて、喜んでいた健太でしたが、兄としていろいろ我慢しないといけないことも増え…。

■絵本

『わがはいはのっぺらぼう』

富安 陽子／文
飯野 和好／絵
わがはいはのっぺらぼう。のっぺら筆で描けば、目も鼻も口も、まるで本物のように仕上がって、男にも女にも老人にも化けぼうだい。人間を驚かせることが仕事ののっぺらぼうの一日を描いたゆかいな絵本です。



12月の読み聞かせ

開催日	会場	時間	催物	*は読み手
7日(水)	ふるさと会館いが小ホール	10:00~1時間程度	絵本の時間	
10日(土)	上野図書館2階視聴覚室	14:00~30分程度	おはなしの会	
13日(火)	青山公民館図書室絵本のコーナー	10:30~30分程度	大きな絵本の読み聞かせ会	
18日(日)	阿山公民館図書室読み聞かせ室	10:30~30分程度	読み聞かせ会	*読み聞かせボランティア「はあと&はあと」
20日(火)	阿山公民館図書室読み聞かせ室	10:30~30分程度	読み聞かせ会	*読み聞かせボランティア「はあと&はあと」
21日(水)	上野図書館2階視聴覚室	15:00~30分程度	えほんの森	*おはなしボランティア「よもよも」
24日(土)	上野図書館2階視聴覚室	14:00~30分程度	おはなしの会	
24日(土)	大山田公民館図書室えほんのへや	10:30~30分程度	おはなしたいむ	*おはなしボランティア「きらきら」

江戸時代の正月規式

お正月の作法

市史編さんだより(23)

今年も残すところわずかとなり、年末は、皆さんの家庭でもお正月を迎えるための用意が始まり、慌ただしさを増してくると思います。一般的に正月の支度を始めるのは、12月13日の「正月事始め」からとされ、家の煤払いなど新年への準備が進みます。

新年を滞りなく迎えたいと思うのは江戸時代の人々も同じであったようで、古い記録から、当時のお正月を迎える儀式の様子を垣間見ることが出来ます。

市内には寛政9年(1797)の正月行事を備忘のため記録した「正月規式目録」という古文書が残されています。この古文書は正月の規式、つまり作法を記したもので、神棚や仏壇へのお供え物などを中心に記録されています。

この規式目録の表紙見返しには「祖先ヨリ仕来り候モノニテ、代々無違背式の通り可致モノ也」とあり、この規式を代々にわたり守るようにと書き添えられています。その内容を少し見てみましょう。

まず、特徴的なのがお供えや飾りをつける場所の多さです。鏡もちに代表されるもちのお供えは、蓬菜神や宮三社、神農などの掛け軸をはじめ

め、神棚や仏壇、さらには蔵や具足(甲冑)にまで行われます。供えるもの形や数、敷紙の枚数、神酒やシダ(裏白)・ゆずり葉など一緒に供えるものが事細かに決められています。



▲「正月規式目録」(部分)
古山地区 個人蔵

右の写真は、この規式目録にみられる「拝み膳」の飾り付けを示した図です。「拝み膳」は、奈良県から伊賀地域にかけて例が見られ、恵方に向かって膳を捧げながら拝むものです。この膳にも「半紙式枚敷、かうし・くしかき・くり真中二置」、「おがみ候上、ぞうに出し申時も不入大こん、いも計もり出す」などの作法が記されています。

規式目録には、ほかに飾松を付ける場所、その大きさや数などが細かく定められています。先祖伝来の作法にのっとり、あらゆる場所にお供えや飾り付けを行うことで、家内には正月の風情が満ちていたことでしょう。年中行事の風情が失われつつある昨今、年の瀬に種々の正月準備に奔走する往時の人々の様子が思われます。

総務課市史編さん係
☎ 52・4380 FAX 52・4381